

～2012年3月 放送予定!!～

『東日本大震災 ドキュメンタリー番組』
河瀬直美映画監督事務所と共同で制作

社団法人日本ケーブルテレビ連盟(理事長 西條 温 東京都中央区)では、東日本大震災から1年を迎える2012年3月に放送を予定し、被災したケーブルテレビ3局を舞台に、「東日本大震災 ドキュメンタリー番組」を制作いたします。

制作の趣旨は、大震災から9ヶ月が過ぎ、各種メディアでの報道等も縮小傾向にある中で、当連盟では、大震災から1年を迎える時期に、全国の視聴者に向け、震災の記憶・記録として忘れてはならない事、日々の生活の中で、人々が「どのように在ったのか」を想起できる番組を放送することによって、日本全国からの復興に向けた機運を創出し、サポートし続けていくべく企画いたしました。

今回の企画では、子どもが見た、経験した大震災を、彼らのまなざしやその家族を通して描くことにより、今までとは違った震災に対する認識や見え方を視聴者に伝えたく考えております。

番組は、2007年のカンヌ国際映画祭にて審査員特別大賞グランプリを受賞され、2011年の同映画祭では、新作『朱花の月(はねづのつき)』がコンペティション部門にノミネートされました、河瀬直美氏監修の下、同氏事務所「組画(くみえ)」の北條美穂氏が監督し、連盟と共同制作をいたします。

日本ケーブルテレビ連盟では、このようなケーブルテレビならではの地域からの情報発信、全国のケーブルテレビ局が制作する優良なコンテンツの流通促進に繋がる企画を実施し、番組コンテンツという「地域力」の強化を推進してまいります。

報道関係者の皆様におかれましては、取材・広報等、幅広いご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■スケジュール(予定)

2012年2月 番組完成 ・ ケーブルテレビ局への配信

2012年3月 ケーブルテレビ局での番組放送開始

【番組概要】 ※詳細は添付資料をご参照ください。

タイトル : 『 - 優 - 』(仮題)

～「生かされた命」- 気仙沼湾に輝く未来への一步を踏みしめて～

監督・撮影 : 北條 美穂 氏

監 修 : 河瀬 直美 氏

番組 時間 : 60分(予定)

番組 画質 : HD 制作



～本件に関するお問合せ～

社団法人 日本ケーブルテレビ連盟 コンテンツ・ラボ <<http://www.catv-jcta.jp>>

佐藤・仁田 TEL : 03-3566-8200 e-mail : renmei@catv.or.jp

くみえ
日本ケーブルテレビ連盟・映画制作会社「組画」共同制作
東日本大震災ドキュメンタリー番組

- 優 - (仮題)

「生かされた命」- 気仙沼湾に輝く未来への一步を踏みしめて



2012年3月
全国ケーブルテレビにて
ON AIR

祖父が遺した一枚の画。それを見つめる孫の優(ゆう)。

震災から9ヶ月経った冬 -
彼女は祖父の描いた気仙沼の海をもう一度、自らのまなざしで見つめはじめた。

これは、一人の少女の成長を描きながら、
街の復興と人間の葛藤が浮彫りにされていく未来へ託す物語。

(三陸ブロードネット㈱(岩手県釜石市)、宮城ケーブルテレビ㈱(宮城県塩釜市)の映像も交えて制作。)

監督・撮影：北條美穂



何が出来るのか。震災後の自分はこの事実から、あえて遠ざかっていたように思います。しかし、ある時ふと、記憶は時間とともに薄れ、大事なことをも忘れてしまう怖さを感じました。ある家族が語った「忘れたい想い」と「忘れたくない想い」があるということ。例えば、その想いを記録することができるなら。そうして、そこに自分が一緒に存在する様にこの作品を世に送り出したいと思います。

●プロフィール

大阪府生まれ。ビジュアルアーツ専門学校大阪 放送映画学科卒業。
河瀬直美監督作品のチョンジュ国際映画祭デジタルプロジェクト作品『狼』(2009)、
ドキュメンタリー作品『玄靴-げんびん-』(2010)、劇映画『朱花(はねづ)の月』(2011)に監督助手として参加。
今回、初の監督作品となる。

監修：河瀬直美



ここには、震災から歩き始めようとするひとつの家族の姿があるがままに描かれます。その中でも希望の光のように小学6年生の少女が紡ぐ言葉に、大人たちは「はっ」とさせられます。きらきらと輝く気仙沼湾に託す未来の姿。それは、子供たちの無垢な心にこそ存在しているのかもしれない。

●プロフィール

奈良県生まれ。大阪写真専門学校(現ビジュアルアーツ専門学校大阪)映画科卒業。
劇場映画デビュー作『萌の朱雀』で1997年カンヌ国際映画祭新人監督賞を史上最年少で受賞し、
07年人間の生と死を見つめた作品『殯の森』は「審査員特別大賞グランプリ」を受賞。
更に09年には、同映画祭に貢献した監督に贈られる「黄金の馬車賞」を受賞。
その後、ドキュメンタリー映画『玄靴-げんびん-』(10)を発表し、2011年の新作『朱花の月』は、
カンヌ国際映画祭コンペティション部門にノミネートされる。
「なら国際映画祭」ではエグゼグティブディレクターも務める。